

図書部だより

Your Library 2012

成田国際高校 図書部 2012・6・8

さあ、まずは図書室へ

読書とは、自己を改善する最良の方法
書物は、わたしたちの心のビタミン剤

新しい学期が始まり、校外学習、第1回考査などを経て、あっという間に2ヶ月以上が経過しました。今年も図書部職員及び図書委員会を宜しくお願いいたします(^_^)/さて、今回の『Your Library 2012』では、「読書」に関する名言を取り上げてみました。

- ・ 書物を読むということは、他人が辛苦してなしとげたことを、容易に自分に取り入れて自己改善をする最良の方法である。(ソクラテス)
- ・ 良き書物を読むことは、過去の最もすぐれた人々と会話するようなものである。(デカルト)
- ・ 書籍なき家は主人なき家のごとし。(キケロ)
- ・ 読書は充実した人間をつくり、会話は機転の利く人間をつくり、執筆は緻密な人間をつくる。(ベーコン)
- ・ 友を選ぶが如く、著者を選べ。(ロスコモン)
- ・ 知識・見聞を広げるためには、他人の意見を聞き、自分の考えを深め、書物も読まなければならない。(福沢諭吉)
- ・ 書物は青年時代における道案内であり、成人になってからは娯楽である。(コリアー)
- ・ 私が人生を知ったのは、人と接したからではなく、本と接したからである。(アナトール・フランス)
- ・ 人の品性は、その読む書物によって判ずることができる。(スマイルズ)
- ・ 読書は、一人のようで一人ではない。本を書いている人との二人の時間である。(斎藤孝)

古今東西の哲人や作家たちは、読書という活動がいかに大切であるかということに世に問うています。たった一冊の本との出会いによって、自分自身の殻を破り、昨日と違う自分に成長できたら、こんなに素晴らしいことはありません。

「食事は身体の栄養、本は心の栄養」と言う人もいます。成田国際の図書室では、生徒のみなさんにとってビタミン剤となるような本をたくさん用意しています。まずは、図書室に入って、あなたの好きな本を手にとってみましょう。なお、図書室は、自習室としても利用できます。

第58回 青少年読書感想文 全国コンクール 課題図書

今年も、青少年読書感想文全国コンクール（主催・全国学校図書館協議会、毎日新聞社）が行われます。同コンクールの応募要項とともに「課題図書（高等学校部門）」も併せて発表されました。その本の内容を紹介します。

図書名／オン・ザ・ライン

朽木祥著 小学館

＜内容＞ テニス部に入った侃は、あっという間にテニスの虜になり、仲間と一緒に熱中した。テニス三昧の明るく脳天気な高校生活がいつでも続くように思えたが……。かけがえのない一瞬を走り抜ける明日への希望の物語。乞う、ご期待。

図書名／ダーウィンと出会った夏

ジャクリン・ケリー作 斎藤倫子訳 ほるぷ出版

＜内容＞ 1899年テキサスの田舎町。11歳のキャルパーニアは、変わり者のおじいちゃんの「共同研究者」となり、実験や観察を重ねるうちに、しだいに科学の面白さにひかれていくが……。乞う、ご期待。

図書名／パスタでたどるイタリア史

池上俊一著 岩波書店（岩波ジュニア新書）

＜内容＞ 地域色の強いイタリアで、人々の心を結ぶ力をもつパスタは、いつ、どのように成立したのか。古代ローマのパスタの原型から、国家統一に役買った料理書まで、パスタをたどることで見えてくるイタリアの歴史。乞う、ご期待。

お知らせ

- ① 今回の『Your Library 2012』の裏面に、5月の新着図書案内を掲載しましたので、是非お読み下さい。
- ② 本のリクエストについて
…具体的に購入して欲しい本がある場合は、図書室のカウンターにある「リクエストカード」に記入のうえ、最寄りの図書委員に提出して下さい。すべてのリクエストに応えられない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。